

阪神南尼崎ブロック勉強会 「新人発表の症例報告について」

兵庫県理学療法士会
阪神南尼崎支部

目次

- ① 新人発表会の趣旨
- ② 抄録作成について
- ③ スライド作成・発表について

① 新人発表会の趣旨

新人発表会の趣旨

新人発表会は、日々の臨床において担当した一症例の臨床評価、問題点、目標設定、プログラム実施、社会復帰といった理学療法過程に対する捉え方、取り組みを症例報告として報告することにより、個人あるいは職場では得られない多様な考えがあることを学び、さらに問題点をフィードバックすることで多面的に検討するきっかけとなる場です。

兵庫県理学療法士会
卒後教育部

症例検討会の意義

- 個々の患者に、最適な理学療法を**選択できる能力**を育成する
- 臨床における問題点を把握し、**解決していく能力**を向上させる
- 理学療法に関する知識、技術自体の向上を推進する
- より多くの考え方、視点による意見を聴取し、自身の理学療法について再考する機会を得る

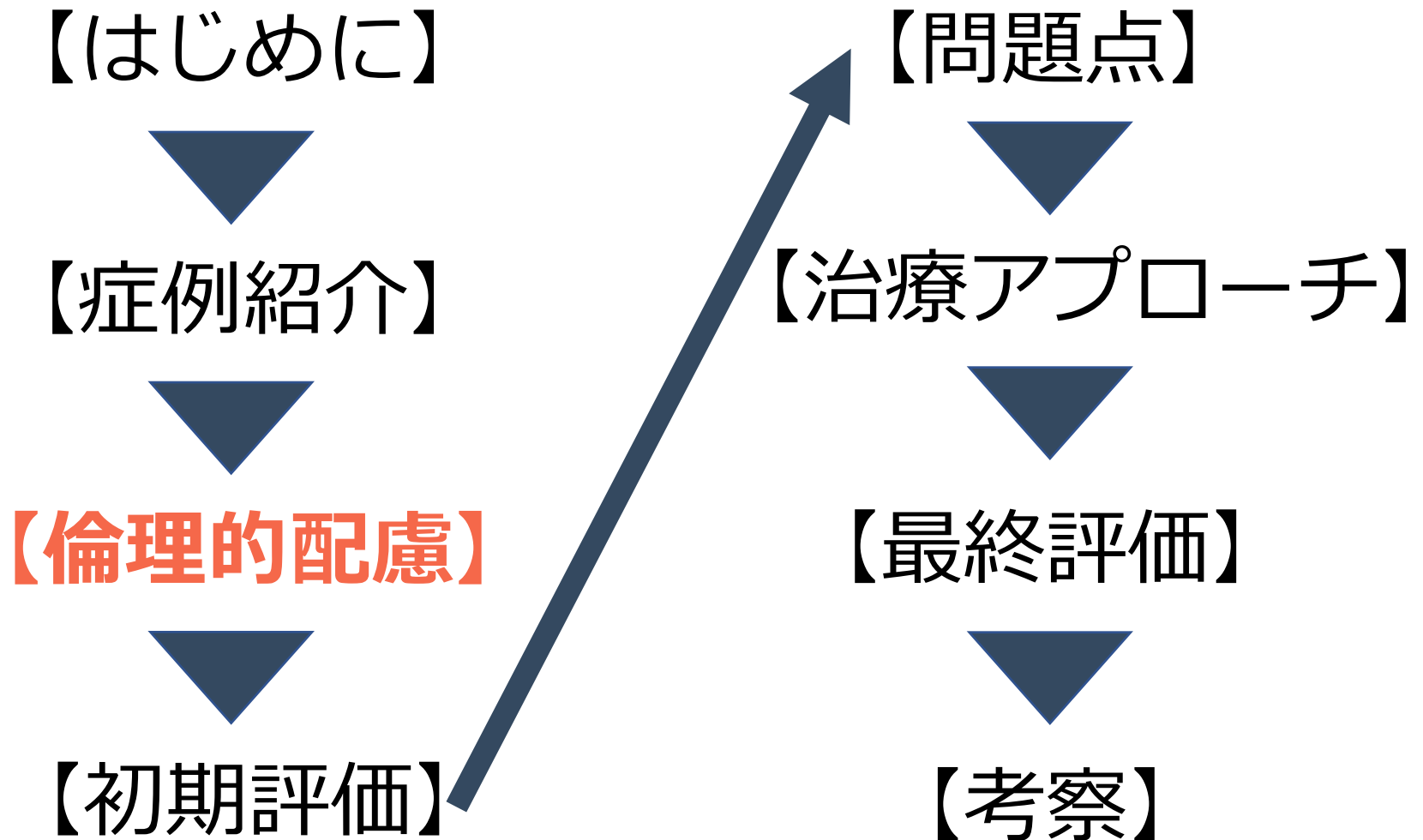
症例報告のコンセプト

※ 発表内容は、原則として症例報告です

- ◆ 理学療法に難渋した一症例
- ◆ 遭遇することの少ない症例、障害
- ◆ 臨床において発見したことや、明らかになったこと

② 抄録作成について

抄録の流れ（一例）



【はじめに】

症例報告のコンセプトや目的について述べる

【症例紹介】

年齢、性別、主訴、二一ズ、診断名、合併症、既往歴、現病歴、治療内容や経過などの医学的情報、職業、家族構成、家屋状況、経済状態を含む社会的情報等を簡潔に記述

各種の情報は、報告する目標の違いにより、情報量の割合を考慮して記述

個人情報取り扱いに注意！！

- 年齢の表記：1桁はふせる 例：「80代」など

- 発症日の表記：発症年月日はふせる

例：X年Y月とし、その後の経過日数は「〇日後」や
「X年Y+〇月or30日or〇週後」など

- 転院元や転院先はイニシャルでも表記しない

例：他院、回復期病院など（A病院と記載するのは×）

【倫理的配慮】

ヘルシンキ宣言に基づいた記載を忘れずに！

(倫理的配慮として、同意を得ている記載がないと受理できません)

【初期評価】

初回時の検査測定結果や姿勢・動作の特徴を記載
(できるだけ客観的な指標で記述)

【問題点】

評価の内容や結果を含めて、症例の問題提起
アプローチへのつながりが分かるように提起

【治療アプローチ】

介入した治療手技や方法（具体的に）

記述内容は、後に試みるために必要な程度の詳細さ

【最終評価】

初期評価との変化点を記載

【考察】

得られた結果、介入後の症例の変化などに対して
考察を行う

自分の主張部分の論拠となるような、先行文献や論文を引用して根拠を提示したり、反対に過去の論文への反論を提示することで、今回の発表での提言を試みる

▶引用の方法についてはルールを守って

③ スライド作成・発表について

発表の手順（参考）

- ☐はじめに
- ☐症例紹介
- ☐初回理学療法評価
- ☐問題点（統合と解釈）
- ☐理学療法プログラム
- ☐理学療法経過
- ☐最終理学療法評価または結果
- ☐考察
- ☐まとめ

スライドの流れ(一例)

たとえば10枚の
スライドで・・・

タイトル

症例紹介

初回評価

問題点

PTプログラム

経過

最終評価

考察①

考察②

まとめ

【はじめに】

コンセプト・・・

なぜ本症例を発表するのか？

- 遭遇する機会の少ない障害・症例
- 理学療法に難渋した症例
- 臨床において発見・明らかになったこと

【症例紹介】

年齢

性別

診断名（術式）

障害名

合併症

現病歴

既往歴

- 症例紹介では、発表に必要な事柄を「抜け」のないように伝えることが大切！
- 診断名や術式等の知識は前もって調べておく
- 左記以外に特記する事項があれば記載する

年齢、発症日、転院元、転院先など
個人情報に関する表記には十分注意
すること

【初回評価】

初回時における**理学的検査測定内容**をまとめる

- 身体計測
- 関節可動域検査
- 徒手筋力検査
- 片麻痺運動機能テスト（BRS SIASなど）
- 感覚検査
- ADL検査（FIM、 Barthel indexなど）
- 運動失調検査
- 運動発達検査
- 高次脳機能検査

などなど・・・

【初回評価】

理学療法における姿勢や動作の特徴を評価

◆基本動作やADLなどの特徴を評価

⇒可能な限り客観的な指標を用いる

- 例)
- ・ビデオカメラを用いた動作中のアライメント
 - ・体重計を用いた片麻痺患者の下肢への荷重量
 - ・到達動作（リーチ動作）の距離
 - ・歩行距離や歩行速度など

【初回評価 歩行】

LR



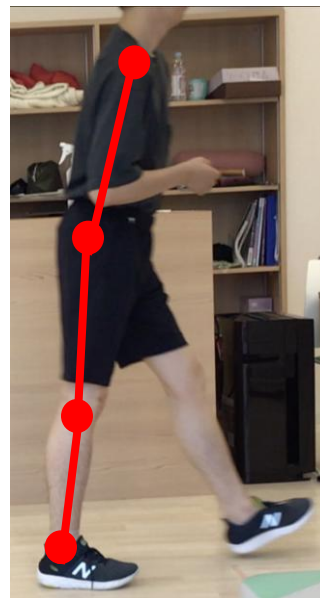
下腿前傾 ↓

MSt



股関節過屈曲
膝過伸展

TSt



股関節伸展 ↓

10m歩行速度
14.02秒 10歩

6分間歩行
260m

歩行速度 フットクリアランス低下

【問題点(統合と解釈)】

ニーズや目標



評価内容、分析



問題提起



次の展開

【問題点(統合と解釈)】 例

LR下腿前傾不十分



#1前脛骨筋筋出力低下
#2大腿四頭筋筋出力低下

MSt重心が上がらない



TSt股関節伸展角度の減少



歩行速度・フットクリアランス低下

【理学療法プログラム】

- 理学療法で実施した内容を記載する
- とくに姿勢・抵抗・器具等に工夫した点についてはスライドにおいて画像などを用いるとわかりやすい

【理学療法プログラム】 例

目的：前脛骨筋・大腿四頭筋筋出力向上

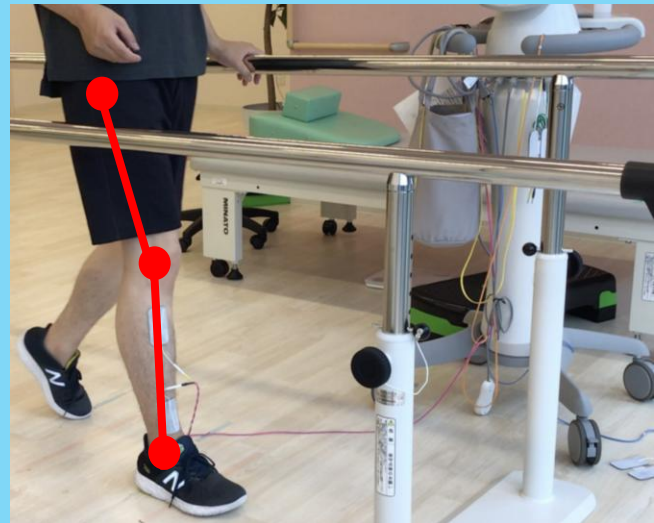
歩行動作への汎化

段差降段訓練



5→10→15→20cmと
徐々に負荷量調整

電気刺激＋ステップ/歩行



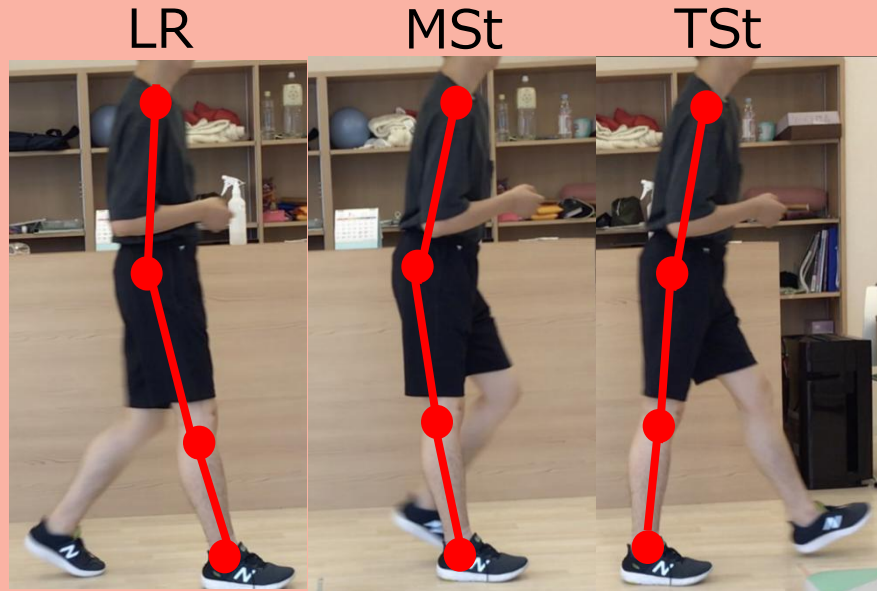
ステップ→歩行と
徐々に難易度調整

【理学療法経過・最終評価】

- 一定期間に実施した理学療法の効果を評価
- ここでは初回評価時に記載した内容はできるだけ記載することが望ましい
- 初回評価時とを比較検討するのは「考察」で、ここではあくまでも最終における評価を行う
- 理学療法の担当を終了したならば「最終評価」が適切、途中経過であれば「○週目」などが適切

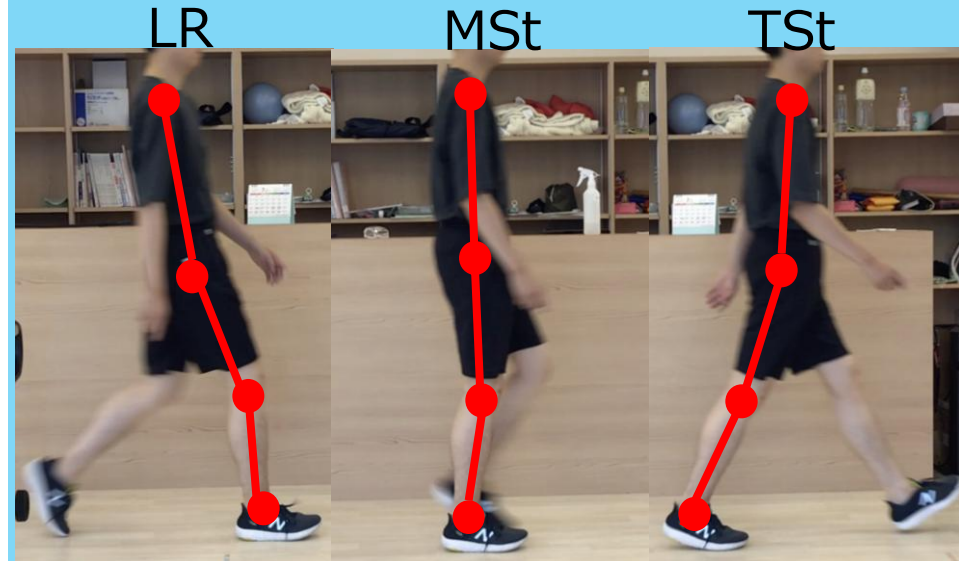
【理学療法経過・最終評価】 例

初回評価



10m歩行速度：14.02秒 10歩
6分間歩行：260m

最終評価



10m歩行速度：9.46秒 8歩
6分間歩行：370m

LR下腿前傾↑



MSt重心上昇



TSt股関節伸展↑

歩行速度・フットクリアランス改善

【考察】

- ここでは一定期間、理学療法を実施し、現在に至ったその経過を考察する
 - ・先行文献や論文等を用いた考察
 - ・記録した客観的データに基づいた考察

「なぜそうなったのか？」の問いに対して
自分自身の考えをまとめる

【考察】 例

LR下腿前傾角度の減少(過剰なブレーキ)

前脛骨筋筋出力低下

大腿四頭筋筋出力低下

段差降段訓練

電気刺激 + step/歩行

筋出力向上 + 歩行への汎化

LR下腿前傾→MSt重心上昇→TSt股関節伸展 ↑

歩行速度・フットクリアランス改善

【まとめ】

- ここでは発表内容についてまとめる
 - ・どんな症例を対象としたのか
 - ・特にどんな問題点に対しどんな理学療法を行ったのか
 - ・効果があった要因について考察
 - ・症例のまとめと学習できたこと
- 検討事項、現在困っていることがあれば提示

スライド作成における注意点

- 使用する色は3～4色が目安（使用する色にも注意）
- 字体：ゴシック体を中心に見易い字体にする
- 文字サイズ：32～42ポイント
- 行数（文字のみ）：1行15～20文字以内、6～8行（10行以内）
- 写真を使用する際は個人が特定できないようにする
- **動画・アニメーションの使用はNG！！**

色は3～4色 図形やフォントを揃える



足尖接地



短下肢装具の装着

踵接地の出現



ヒールロッカー機能の獲得



歩行時の左膝ロッキング消失

悪い例①

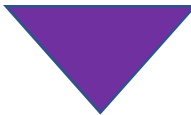


足尖接地



短下肢装具の装着

踵接地の出現



ヒールロッカー機能の獲得



歩行時の左膝ロッキング消失

悪い例②



足尖接地



短下肢装具の装着

踵接地の出現



ヒールロッカー機能の獲得



歩行時の左膝ロッキング消失

文字サイズ

60ポイント

ヒマワリ

40ポイント

アサガオ



32ポイント

アジサイ

28ポイント

スイレン

20ポイント

コスモス



16ポイント

ハナミズキ

行数

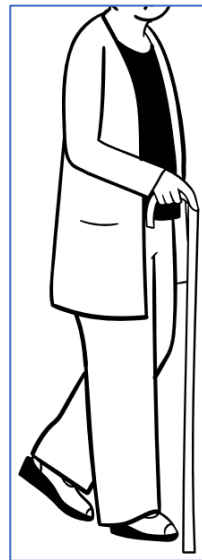
- 行数(文字のみ) : **1行15～20文字以内**
6～8行 (10行以内)



ヒールロッカー

3つのロッカーの中で、ヒールロッカーのみ仲間はずれである。その意味を考える事がヒールロッカーの機能を考える上で重要となる。ヒールロッカーは関節ではないところに回転軸があり、踵の形状を使って回転している。関節運動ではないため、筋力を使って、速さや軌道の制御ができない。ヒールロッカーが起きる時期は、重心が低くなる時期であり、上から2センチ自由落下となる。その衝撃は体重の1.2～1.5倍の加重となる。この時期に、自分の意思ではない転がり方となりうる回転運動が起こることは、ある意味リスクが高い制御である。

写真の使用



- ・ 顔部分を図形やトリミングするなどして隠す
- ・ アライメント上必要な場合は目部分を隠す
- ・ 他の患者や利用者の写り込みにも注意

アニメーションは禁止！！



足尖接地



短下肢装具の装着

踵接地の出現



ヒールロッカー機能の獲得



歩行時の左膝ロッキング消失

見やすいスライドのポイント

- 背景と文字の色

メリハリをつけるため、暗い背景にはできるだけ明るい色で文字の色を選ぶこと

- 文字の大きさ

32ポイント以上が目安

- 文字の量

1枚のスライドに約6行が目安

- 画像と文字

スライド作成段階で説明可能かどうか、また聞き手が混乱しないかを考える

読み原稿の作成

スライド①

よろしくお願いします

今回、両下肢不全麻痺を呈した患者様に対し、
早期からの荷重刺激の入力により、起立・立位の
介助量改善に繋がったため報告させていただきます。

スライド②

症例は○歳、男性。

診断名は○○○・・・

スライド③

最後にまとめです。・・・

ご清聴ありがとうございました

タイトル

症例紹介

まとめ

説明の最後に

- 症例報告会は日常の臨床の副産物であり、新人発表会のために理学療法を行うものではありません。
- 症例報告にご協力していただいた患者さんに対する社会的なモラル、マナー守って頂きたいと思います。また今回得た知識・技術を今後に活かして頂きたいと思います。
- 新人さんらしく、謙虚な姿勢で、元気よく、発表してほしいと思います。

問い合わせ先： shinjin_amagasaki_pt@yahoo.co.jp

新人発表会募集要項

抄録作成について <書式>

作成方法	Word2010以降のソフト使用
サイズ	A4用紙1枚
余白	上下1.5cm、左右2.0cm
行数	40行、1行22文字程度、2段組
字体	明朝体
文字サイズ	10ポイント前後
文字数	1700字前後（表題は40字以内）

発表方法について

発表時間	7分以内（質疑応答は3分以内）
作成方法	Power Pointスライド → <u>PDFデータへ変換し提出</u>
スライドサイズ	指定なし（標準orワイド）
スライド枚数	10枚程度

※スライドに枚数制限はありませんが、
制限時間内に終了するようにしてください

令和7年度 尼崎ブロック 新人発表会 確認事項

抄録〆切：令和7(2025)年12月8日(月)

スライド〆切：令和8(2026)年1月31日(土)

⇒メールにて受付し、完了通知をもって受理とします。

※原則、送信元に返信します。

【抄録・スライド受付メール】

E-mail:shinjin_amagasaki_pt@yahoo.co.jp

令和7年度 尼崎ブロック 新人発表会 確認事項

- ①メール件名に所属施設名、氏名（フリガナ）
- ②抄録はMicrosoft office 「word2010以降」で作成したものを添付、スライドはPower PointスライドをPDFデータへ変換し添付
- ③ ②の抄録とスライドのファイル名は「所属施設名、氏名（フリガナ）」

【抄録・スライド受付メール】

E-mail:shinjin_amagasaki_pt@yahoo.co.jp

抄録の提出方法

〆切：令和7（2025）年12月8日（月）

〇〇病院 尼崎 太郎（アマガサキ タロウ）

shinjin_amagasaki_pt@yahoo.co.jp

〇〇病院 尼崎 太郎（アマガサキ タロウ）

〇〇病院 尼崎 太郎（アマガサキ タロウ）.docx (15 KB)

Sans Serif

送信

①メール題名に所属施設名、氏名（フリガナ）

② **Word形式**のデータを添付
※フォーマットを支部HPよりダウンロード可能



スライドの提出方法

〆切：令和8（2026）年1月31日（土）

〇〇病院 尼崎 太郎（アマガサキ タロウ）

shinjin_amagasaki_pt@yahoo.co.jp

〇〇病院 尼崎 太郎（アマガサキ タロウ）

〇〇病院 尼崎 太郎(アマガサキ タロウ).pdf (204 KB)

Sans Serif

送信

①メール題名に所属施設名、氏名（フリガナ）

②PDF形式のデータを添付

令和7年度 尼崎ブロック 新人発表会日程

日程：令和8(2026)年2月15日（日） 予定

発表形式：対面開催を予定

※詳細は決定次第、メールもしくは支部HPにてお知らせ
しますので、各自（各施設）確認してください

チェックリスト

例年修正が多い箇所です

【抄録】

- 余白：上下1.5cm、左右2.0cm
- 行数：40行
- 字体：明朝体
- 文字サイズ：10ポイント前後
- 表題：40字以内
- 倫理的配慮の記載
- 個人情報に関する記述

【スライド】

- 顔を隠せているか

【メール】

- 件名は指定した情報が記載されているか
- PowerPointはPDFに変換できているか